

企業名： デンカ

レポート名： デンカレポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

デンカは1915年に創業し石炭窒素肥料の製造・販売を開始してから化学工業品、石油化学、医療分野まで事業を展開し現在では電子・先端プロダクツ部門、ライフイノベーション部門、エラストマー・インフラソリューション部門、ポリマーソリューション部門の4つの部門で事業を展開している。これからは Specialty-Fusion Company, Sound Growth, Sustained Growth の3つの成長ビジョンを基に環境エネルギー、ヘルスケア、高付加価値インフラの改善によって社会にとってかけがえのない会社になることを目指している。また、SDGsにも貢献するために2050年にはCO₂排出ゼロになることを目指し、再生可能エネルギーである水力発電設備を16か所保有してカーボンニュートラルの実現を目指している。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

デンカの経営計画である Denka Value-Up の基本コンセプトはスペシャリティー事業に集中することによってポートフォリオ改革をしていくことと書いてある。Denka Value-Up の事業 Value-Up ではスペシャリティー化を推し進めることを目標にし、そのためにDXを積極的に導入して、仕事のデジタル化だけでなく仕事の仕方を変えたとおきな挑戦をしようとしている。2020年度には347億円の営業利益をあげている中でスペシャリティー化率が営業利益比で97%と極めて高い値を出していることから、デンカの競争優位性は理解できる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

デンカは2020年度でスペシャリティー化率が営業利益率比で97%と高い水準を記録している。そして財務基盤の健全性を維持する取り組みを継続するとともに、スペシャリティー事業を中心とした戦略投資によって、「持続的成長」かつ「健全な成長」の実現を目指して5か年で2100億円の積極的な戦略投資を行おうとしている。これらよりこの高いスペシャリティー化率を維持しより発展させていくと考えるため、競争優位性に持続性があるかどうか理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

デンカでは「スペシャリティー人材育成プログラム」という今までの研修に加え、新しく新人評価制度の制定や職群・管理職制度の改編などに対応する教育体系を構築することで、社員一人一人のキャリア形成を支援するプログラムを策定した。これにより自分の固有にもつ土台に磨きをかけ、その上自分のスペシャリティーを積み重ね世界基準の卓越した存在になることができる。また、社内アンケートにおいて「安全性」や「職場のコミュニケーション」の項目が高く評価されているため安心して仕事ができ自身の人的資本の価値向上を達成できると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

デンカのこの報告書では会社についての情報をまんべんなく掲載しており、今後の課題を解決するための具体的な内容まで具体的な数値とともに記載されていて改善余地はみつからなかった。